

戦 評

大会名 第74回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会

男子決勝

会場名：盛岡タカヤアリーナ

主 審：田中 哲

副 審：多田 直樹

試合結果

一 関 修 紅 3 $\left\{ \begin{array}{l} 25-18 \\ 25-19 \\ 23-25 \\ 22-25 \\ 15-7 \end{array} \right\}$ 2 不 来 方

戦 評

試合時間 2時間01分

第1セット、一関修紅は4番細川の時間差攻撃が決まりリードする。不来方は7番大坊のブロックで流れを変えようとするも、一関修紅は13番石川の巧みなトスワークからの多彩な攻撃でセットを先取した。

第2セット、不来方は15番中田と5番松浦の安定したレセプションからサイドアウトを確実に取り中盤までリードするも、一関修紅は1番北條のスパイクで反撃し、セットを連取した。

第3・4セット、不来方はセッター交代により攻撃リズムを変える作戦が的中。1番大橋4番西川のスパイクを中心に攻撃し、セット連取に成功。フルセットに持ち込んだ。

第5セット、一関修紅は3番村塚、8番横山を中心とするブロックが冴えわたり、粘る不来方を振り切り、3年ぶりの優勝を果たした。

戦評者：手島 瑞夫

戦 評

大会名 第74回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会

女子決勝

会場名：盛岡タカヤアリーナ

主 審：新沼 美穂

副 審：畠山 沙由利

試合結果

<u>盛岡誠桜</u>	3	}	25-19	}	0	<u>一関修紅</u>	
			25-23				
			27-25				

戦 評

試合時間 1時間21分

2年ぶりの優勝を目指す盛岡誠桜と、6年ぶりに決勝進出の一関修紅との対戦となった。

第1セット、盛岡誠桜は1番笹渡と4番熊谷のスパイク、5番柿木のサーブでリードを広げる。差を縮めたい一関修紅は3番田中、4番在家のスパイクとブロックで追いつがるも、盛岡誠桜は、笹渡のスパイクで突き放しセットを先取した。

第2セット、盛岡誠桜はセッター3番阿部を基点に得点を重ねる。一関修紅は中盤以降、8番佐々木のサービスエースなどで連続得点し1点差まで追いつがるが、盛岡誠桜が突き放し、セットを連取した。

第3セット、中盤まで一関修紅が大きくリードするが、盛岡誠桜は11番笈口、4番熊谷のサーブで一関修紅の守備を崩しデュースに持ち込む。最後は盛岡誠桜2番佐々木のサービスエースで2年ぶりの優勝を決めた。

戦評者：花坂 好文